

きょうとまるごとお茶の博覧会事業

# 茶室の過去・現在・未来 シンポジウム

建築家も文化人も、熱く語りたい！



令和7年7月13日(日)

13時～16時30分

京都府立京都学・歴彩館

<登壇者>

阿部 仁史

魚谷 繁礼

濱崎 加奈子

伊住 禮次朗

桐浴 邦夫

藤森 照信

日時: 令和7年7月13日(日)13時～16時30分

場所: 京都府立京都学・歴彩館  
(京都市左京区下鴨半木町1-29)

定員: 350名

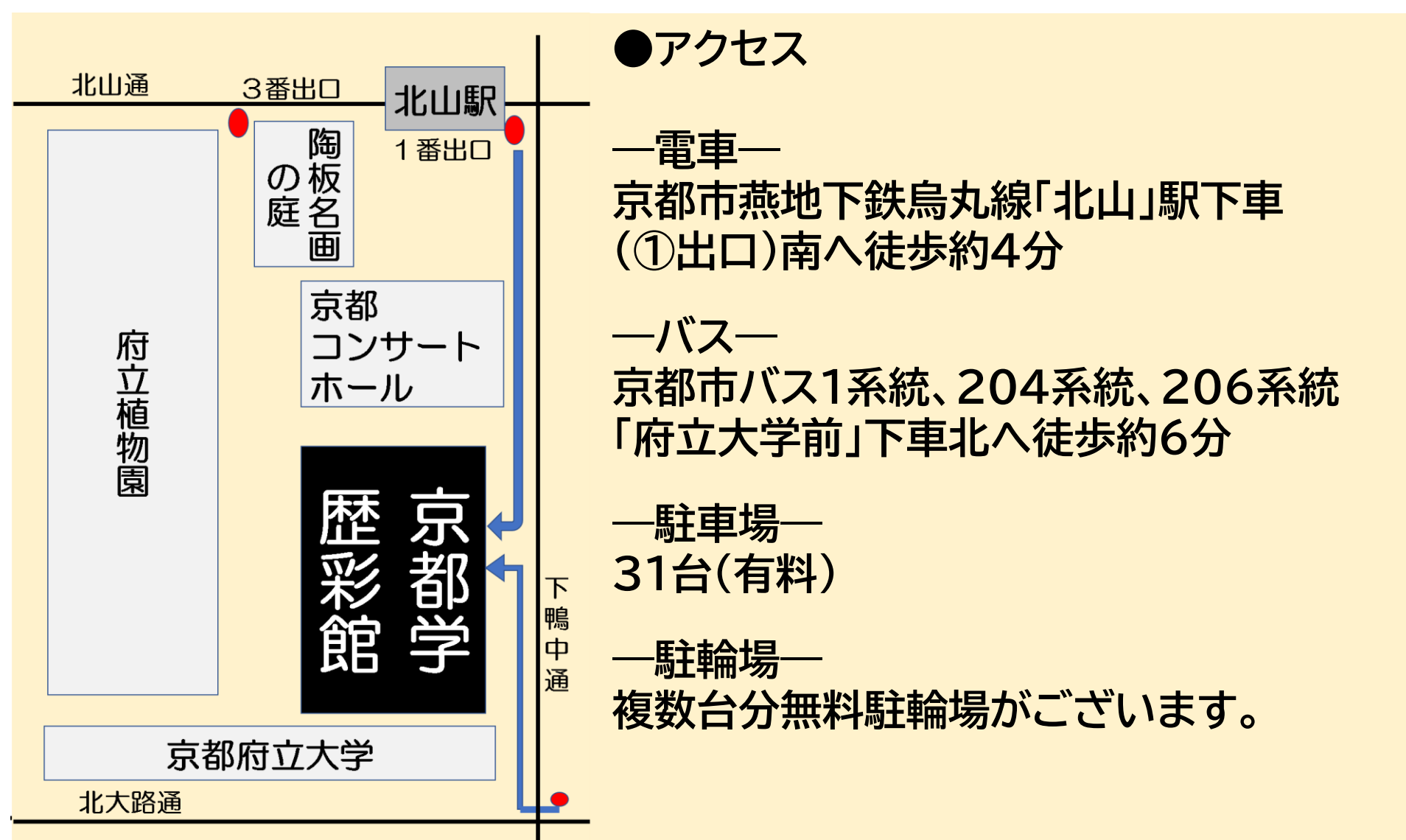
入場: 無料(事前申込必要)

申込: Peatixから申込をお願いいたします。



➡「きょうとまるごとお茶の博覧会」茶室の過去・未来・現在 シンポジウム

問合先: Tel:075-414-5244



主催: きょうとまるごとお茶の博覧会実行委員会(事務局: 京都府文化政策室)

協力: 京都建築専門学校

# 茶室の過去・現在・未来 シンポジウム

## 【スケジュール】

◇第1部 話題提供(トーク):13時30分～

趣旨説明・茶室の歴史からみたその思考……………桐浴 邦夫

講演1 茶室の建築的本質……………藤森 照信

講演2 茶の湯の多文化的解釈……………阿部 仁史

講演3 「すき」の行方～数寄・茶の湯・茶道～…伊住禮次郎

～～～～休憩(10分程度)～～～～

◇第2部 パネルディスカッション:「次代に伝え世界に伝える、茶室の魅力」(15時15分～)

<登壇者>

阿部仁史、伊住禮次郎、魚谷繁礼、桐浴邦夫、濱崎加奈子、藤森照信

※第2部の開始時間につきましては、あくまでも予定ですので、進行により前後する可能性がございます。

## 【登壇者の紹介】



### ◆阿部 仁史(あべ ひとし)

現在、UCLA の建築・都市デザイン学科教授、UCLA Paul I. and Hisako Terasaki Center for Japanese Studies のディレクターを務める。1992年に阿部仁史アトリエを設立、2008年には、ロサンゼルスに第2 事務所を開設。デザイナーとして、また教育者として、講演や出版活動を継続的に行い、学際的コラボレーションを通じ、様々な関係者とプロフェッショナルなパートナーシップを確立する能力により、建築および都市デザインの分野におけるリーダーの一人として活躍。



### ◆伊住 禮次郎(いずみ れいじろう)

茶人。茶道裏千家の連家・伊住家に次男として生まれる。茶名は宗禮(そうれい)。茶の湯釜の研究で博士(学術)号取得。父・伊住政和が1988年に立ち上げた「茶美会(さびえ)」主宰を継承し、アーティストとの共創による実験的な茶会を試みている。裏千家が営む茶道総合資料館副館長、裏千家学園茶道専門学校副校長等を務めており、茶道の伝統を守り伝えると共に、茶の湯文化の今様を模索している。



### ◆魚谷 繁礼(うおや しげのり)

1977年生まれ。兵庫県出身。2003年に京都大学大学院工学研究科を修了。現在、魚谷繁礼建築研究所代表。京都工芸繊維大学教授。京都を拠点に、国内外で建築の設計に携わってきた。茶室の設計も行っている。大学では、学生らとともに国内外の歴史都市の現況に関する調査研究に取り組んでいる。著書に『魚谷繁礼建築集』(2024 年/TOTO 出版) など。



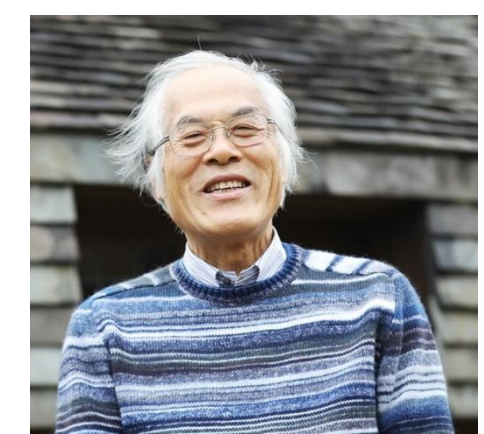
### ◆桐浴 邦夫(きりさこ くにお)

1960年和歌山県生まれ。京都工芸繊維大学大学院で中村昌生に師事。東京大学博士(工学)。現在、京都建築専門学校副校長。一級建築士。著作は、『茶の湯空間の近代』(思文閣出版)、『近代の茶室と数寄屋』(淡交社)、『茶室設計』(エクスマレッジ)、『茶室33 選』(a+u、編著)、『茶室露地大事典』(淡交社、共著)など。文献から茶室の復元設計にも取り組む。「現代・和室の会」副会長、擁翠亭保存会代表などを務める。



### ◆濱崎 加奈子(はまさき かなこ)

京都大学卒業。東京大学大学院総合文化研究科修了、博士(学術)。伝統行事の再興や建造物の保存等、文化の継承に関わる数々の現場に携わる。江戸時代の学問所址・有斐斎弘道館の数寄屋建築と庭の保存活動に携わり、館長を務める。京都府立大学准教授。著書に『香道の美学』『京都かがみ』など。きょうとまるごとお茶の博覧会統括アドバイザーでもある。



### ◆藤森 照信(ふじもり てるのぶ)

1946年長野県生まれ。建築史家、建築家。東京都江戸東京博物館館長。東京大学名誉教授。工学院大学特任教授。『日本の近代建築 上・下』(岩波書店)『建築探偵の冒険・東京篇』(筑摩書房)『茶室学講義—日本の極小空間の謎』(角川ソフィア文庫)『藤森照信作品集』(TOTO出版)など著書多数。建築作品として〈近江八幡ラ・コリーナ草屋根〉〈多治見市モザイクタイルミュージアム〉など。近年は国内外にフリースタイルの茶室も制作している。